

平成31年度 当初予算要求の概要

局・区名

建設局

要求総額

35,369

百万円

(対前年度予算 ▲ 7.3 %)

局区予算要求方針

今年6月の大阪北部地震や9月に上陸した台風21号では、府内及び本市各地でも大きな被害を受けるなど、改めて安全・安心の大切さを認識したところです。こうした災害から市民の生命・財産を守るため、災害に強い防災・減災のまちづくりを進めます。また、道路、公園等の効果的かつ効率的な維持管理を計画的に進めるほか、本市の更なる発展に向け都市魅力の創造につながる事業を推進します。

行財政改革では、道路空間や公園用地の利活用に加え、既存事業の見直しを進め、財源確保やコスト削減に努めます。

※ 給料、職員手当、共済費等各局で要求しないものは除く

重点的に取り組むもの

【※ ◎は新規事業、○は拡充事業】

1 計画的な維持管理によるコスト縮減

要求額

◎ 道路アセットマネジメント事業

259 百万円

取組内容 トンネルや道路照明灯などの維持管理計画に土工構造物を新たに加えることにより、法令で定められた施設を網羅し、戦略的な維持管理を行います。これらの計画に基づき、点検・調査及び補修・更新を行い、施設の長寿命化に取り組みます。また、国費や交付税算入のある起債を活用し、市の財政負担を軽減します。

◎ 公園施設長寿命化修繕事業

430 百万円

取組内容 2ヘクタール以上の公園に存在する老朽化した施設について、国費を最大限に活用しながら計画的に修繕等を実施します。また、0.1ヘクタール以上の公園については、公園施設マネジメント計画に基づき、ライフサイクルコストの縮減や維持管理費の支出を平準化し、効率的・効果的な維持管理を行います。

2 都市魅力の創造に資する事業の更なる推進

◎ 南海高野線連続立体交差事業

166 百万円

取組内容 踏切による渋滞等の解消とともに、本市の玄関口としてふさわしいまちづくりを推進するため、平成32年度の都市計画決定に向け、環境影響評価や都市計画素案の作成に取り組みます。

◎ 阪神高速道路大和川線事業（大和川沿川整備）

150 百万円

取組内容 平成31度末に全線開通する阪神高速道路大和川線の上面等を活用し、公園の整備や広域サイクルルートの形成に資する自転車通行環境の整備に取り組みます。

行財政改革の項目

1 歳出経費の削減

効果額

○ 公園施設における電力一般競争入札

20 百万円

取組内容 公園施設で使用している電力供給について一般競争入札を行い、電力使用料の歳出縮減に取り組みます。

2 歳入確保の取組

○ 道路空間の有効活用

1 百万円

取組内容 北花田口高架橋高架下の道路占用において、入札を実施することにより占用料の増収に取り組みます。

○ 公園遊具更新事業指定寄付金の創設

1 百万円

取組内容 公園遊具の更新等を使用目的とした寄付金制度を創設し、市HP内のふるさと納税ページをはじめとしたPR活動を行い、財源の確保をめざします。